

## LZ-X20EM

デジタルルームミラー

### 取扱説明書 取付説明 / 保証書付

お買い上げいただきましてありがとうございます。  
ご使用前に、本書をよくお読みのうえ、  
説明の通り正しくお使いください。  
また、本書は大切に保管してください。  
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド

### もくじ

安全上のご注意（必ずお読みください）.....	3
使用上のご注意.....	8
取り付け / 配線のしかた.....	9
主な仕様.....	13
保証とアフターサービス.....	14
保証書.....	16

※ 本書に操作方法は掲載されていません。  
操作方法についてはユーザーズガイド(下記)をご覧ください。

### 操作方法についてはユーザーズガイドをご覧ください

スマートフォンやタブレット、パソコンなどでご覧になれます。  
<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/lz-x20em/>



### My-Kenwood（ユーザー登録）のご案内

お買い上げいただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。  
下記ウェブサイトで会員規約をご確認になり、My-Kenwoodをご利用ください。  
<https://jp.my-kenwood.com>

# はじめにお読みください

## 説明書の構成について

本製品の説明書は、以下のように提供しています。

### ■ 取扱説明書（本書）

本機を安全にご使用いただくためのご案内や車両への接続、取り付け方法などを説明しています。

### ■ ユーザーズガイド

本機の操作方法や、故障と思われるような場合の解決方法などを説明しています。

ユーザーズガイドは、スマートフォンやタブレット、パソコンなどで、以下のウェブサイトから閲覧できます。（通信費はお客様のご負担となります）

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/lz-x20em/>



## 本機のサポート情報について

### ■ 本機の最新情報はこちら

ファームウェアのバージョンアップ情報など本機の最新情報を掲載しています。

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/>



### ■ FAQ（よくあるご質問）

以下のウェブサイトでは、本機についてのお問い合わせの内容を掲載しています。

ユーザーズガイドの「故障かなと思ったら」と合わせてこちらもお覧ください。

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/faq/>



## 故障と思われる場合について

故障と思われる症状が発生した場合は、まずユーザーズガイドの「故障かなと思ったら」を参照して解決方法がないかお調べください。

もし、解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター（裏表紙）にご相談ください。

## 本体 / 付属品

メインユニット × 1



リアカメラ  
(ブラケット付き) × 1



シガープラグコード  
(3.5m) × 1

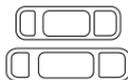


接続ケーブル  
(9m) × 1



固定用バンド(短) × 2

固定用バンド(長) × 2



# 安全上のご注意（必ずお読みください）

■ 本機の取り付け、配線、操作を始める前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。  
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

● 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 <b>危険</b>	人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 <b>警告</b>	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

● お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意（しなければならない）の内容です。
	禁止（してはいけない）の内容です。
	実行（かならず行っていただく）の内容です。

● 免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

# 安全上のご注意（必ずお読みください）

## 内蔵電池について（本機は充電式電池を内蔵しています）

### ⚠ 危険



#### 本機（内蔵電池）の取り扱いに注意する

本機は充電式電池を内蔵しています。次のことを必ず守ってください。

- 分解・改造しない
- 加熱したり、火の中に入れてたりしない
- ダッシュボードなど直射日光の強いところや炎天下の車内などの異常に高温となる場所に放置しない

内蔵電池が発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やけがの原因となります。



#### 内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する

本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。

- 内蔵電池を過熱したり、分解・改造したり、火や水の中に入れてはいけない
- 内蔵電池を火のそばや炎天下などに置かない
- 内蔵電池のコネクターに絶縁テープをはる

発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やけがの原因となります。

### ⚠ 警告



#### 内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する

本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。

- 内蔵電池は、幼児の手の届く場所に置かない
- 内蔵電池の液がもれて目にはいったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、医師の治療を受ける

けがや事故の原因となります。

## 取り付けや配線について

### ⚠ 警告



#### 本機は DC12V ⊖アース車以外で使用しない

火災や故障の原因となります。DC12V ⊖アース車以外で使用しないでください。



#### エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない

エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

-  **取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない**  
交通事故やケガの原因となります。
-  **視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない**  
交通事故やケガの原因となります。
-  **本機は保安基準の取り付け許容範囲外に貼り付けない**  
視界不良や本機がはずれて、事故の原因となります。
-  **取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する**  
取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をするに車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
-  **説明書に従って取り付け・配線をする**  
火災や故障の原因となります。作業は手順どおりに正しく行ってください。
-  **作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する**  
車体に穴を開けて取り付ける場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。
-  **必ず付属の部品や指定の部品を使用する**  
機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。
-  **コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する**  
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。
-  **車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する**  
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。
-  **コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する**  
被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。
-  **取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する**  
車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。
-  **ネジなど小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く**  
あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
-  **本機に付属のシガープラグコードを使用する**  
付属以外のシガープラグコードを使用すると、火災、感電の原因となります。

## 安全上のご注意（必ずお読みください）

-  シガープラグは、確実に差し込む  
確実に差し込めない場合、接触不良により火災、感電の原因となります。
-  シガープラグを抜くときは、プラグを持って抜く  
コードが破損し火災、感電の原因となります。
-  使用後または長時間使用しないときは、シガープラグを抜く  
車種によってエンジンを切ってもシガーライター電源が切れない場合があります。火災やバッテリー上がりの原因となります。
-  シガープラグは定期的に清掃する  
ほこりが付着していると火災の原因となります。
-  めれた手でシガープラグを抜き差ししない  
感電の原因となります。

### 注意

-  水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない  
水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
-  機器の通風口や放熱板をふさがない  
機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
-  コードの扱いに注意する  
コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

## 使用方法について

### 警告

-  分解・修理および改造はしない  
分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。
-  機器内部に、水や異物を入れない  
金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようご注意ください。



#### 故障や異常な状態のまま使用しない

画像が映らない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止して電源コードを本機から外してください。事故や火災、感電の原因となります。



#### 運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。



#### 雷が鳴り出したら、電源コードや本機に触れない

落雷による感電の原因となります。



#### ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご依頼してください。

## ⚠ 注意



#### 本機を車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。



#### 走行前に本機の取り付け状態を点検する

本機の脱落、落下等により、けがや交通事故の原因となることがあります。

## 異常時の問い合わせ

## ⚠ 警告



#### 異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

## ⚠ 注意



#### 落としたり使用を中止する

機器を落としたり、強い衝撃が加わったりした場合は、内蔵電池が損傷している恐れがありますので、使用を中止し、点検・修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

# 使用上のご注意

## ご使用前に定期点検する

ご使用前に、角度調整ネジの緩み、両面テープのはがれなどが無いか、定期的に点検を行ってください。

運転の妨げや事故の原因となることがあります。

## 取り付けについて

- ・本機はカメラモニタリングシステム搭載車※や純正デジタルルームミラー装着車※には使用できません。  
※側方や後方などの車外カメラを使用し、車内のルームミラー内のディスプレイなどで直前側方運転視界基準等を満たしている車両
- ・誤った取り付けをした場合は、本機が正しく動作しないことがあります。取り付け方向、取り付け角度など「取り付け / 配線のしかた」(→ P.9)を参照して本機を正しく取り付けてください。

## ご使用について

- ・カメラのレンズをふさいだり、汚したり、レンズの近くに反射物を置かないでください。
- ・車両のリアガラスにコーティング剤が使用されている場合は、映像品質に影響が出る可能性があります。
- ・本機が応答しなくなった場合は、電源を入れ直してください。電源を入れ直すには本機にある RESET ボタンを先端が細い爪楊枝等で押します。電源が切れて、再度オンになります。
- ・LED 信号機の色が認識できなかったり、ちらついたりする映像になる場合がありますが、本機の故障による症状ではありません。信号機の識別に関して、当社は一切の責任を負いません。

## 電源について

- ・本機の動作電源電圧は DC5V です。必ず付属のシガープラグコードを使用し、取扱説明書にしたがって接続してください。ケーブルの改造(バッテリーに直接つなぐ)などは絶対に行わないでください。

## 内蔵電池について

- ・本機はリチウム二次電池を内蔵しています。

## 本機のお手入れ

- ・本機が汚れたときは、シリコンクロス、または柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり変形や変質、破損の原因になります。
- ・レンズ部が汚れている場合には、柔らかい布で軽く拭いてください。乾いた布で強くこすると傷の原因になります。
- ・ご使用前にブラケットの接着面がはがれていないか、また、ネジの緩みなどが無いことを確認してからご使用ください。

## リバース連動「画角自動下降」機能について

リバースに連動してリアカメラ映像の画角を下降して映すことで車両後方の確認を補助することができます。お買い上げ時は「オフ」に設定されています。

LCD 画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度(徐行)でご使用ください。

- ・リバース連動「画角自動下降」機能は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。リアカメラ取付部のリアガラスに雨滴などが付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- ・表示位置を調整するときは、必ず安全なところに停車してから操作してください。

# 取り付け / 配線のしかた

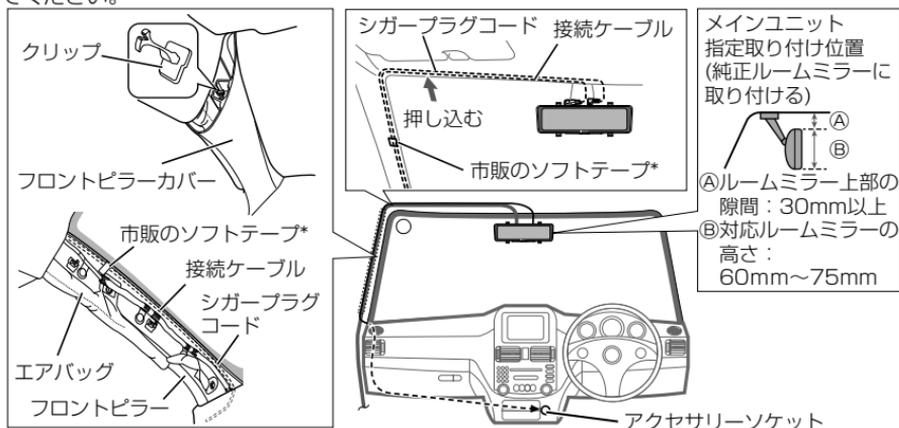
## 取り付け時のご注意と推奨取り付け位置

### ■ 共通

- ・取り付け後、車両電装品が正常に動くか、必ず動作確認を行ってください。
- ・ケーブル・コード類は運転操作の妨げにならないように市販のソフトテープなどでまとめてください。
- ・地デジやETC等のケーブル・コードといっしょに束ねないようにしてください。
- ・ラジオアンテナの近くに取り付けおよび配線をしないでください。ラジオの受信感度の低下やノイズの原因になる可能性があります。
- ・本機や本機の電源配線を地上デジタルテレビ受信アンテナの近くや、電装品の近くに取り付けおよび配線をしないでください。テレビの受信感度の低下やちらつき、ノイズの原因になる可能性があります。

### ■ メインユニット

メインユニットの取り付け位置を確認し、シガープラグコード、接続ケーブルの引き直しを行ってください。



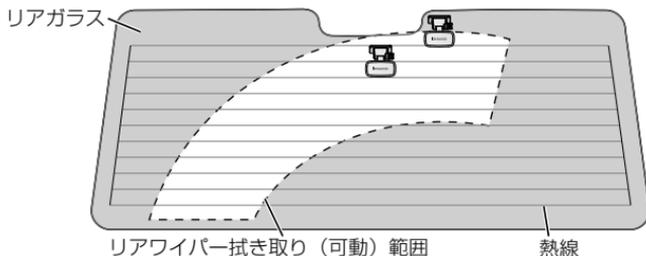
### メモ

- ・本機の電源をオフしたときに本機のミラーで後方がしっかり見えることを確認してください。事故等の原因になります。映り込みが気になる場合は、純正ミラーの角度を調整してください。
- ・メインユニットを純正ミラーに取り付ける前に、純正ミラーの可動部が少しの力を加えただけで動いてしまうことがないか確認してください。弱い力を加えただけで動いてしまう場合は、純正ミラーの可動部に異常などがいないか確認してください。
- ・\*シガープラグコードと接続ケーブルは運転やエアバッグ動作の妨げにならないように、市販のソフトテープなどで固定してください。
- ・フロントピラーカバーが特殊クリップなどで固定されている車両の場合は、フロントピラーカバーを外すとクリップの交換が必要となる場合があります。フロントピラーカバーの外しかたや交換部品の有無など、詳しくは車両販売店にお問い合わせください。

# 取り付け / 配線のしかた

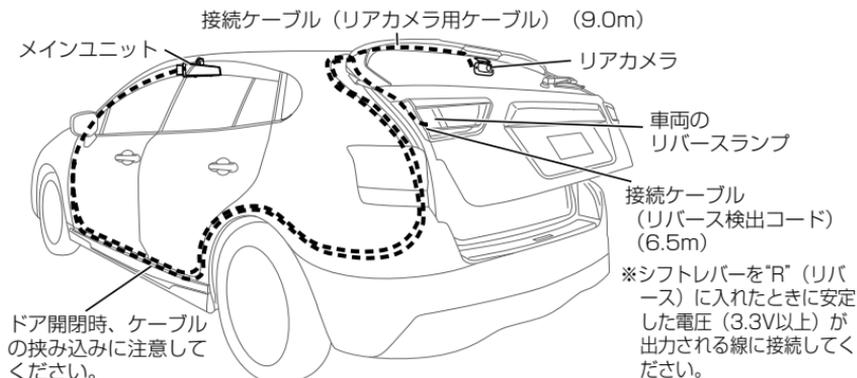
## ■ リアカメラ

- ・リアガラスに熱線がある場合は、以下に注意して取り付けてください。
  - リアカメラのレンズを熱線と熱線の間になるようにします。
  - 取付ブラケットの両面テープは、できるだけ熱線避けるように貼り付けてください。両面テープをはがす際、熱線を破損させるおそれがあります。



- ・直接リアガラスに取り付けてください。
- ・リアガラスにフィルムが貼られている場合、フィルムの上から取り付けると、衝撃を受けた際にフィルムごと外れる可能性があります。本機を使用する場合は、フィルムを貼らないでください。
- ・ワイパーが装着されている場合、ワイパーの拭き取り範囲に入るように取り付けてください。ガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより、映像が見づらくなる場合があります。
- ・取り付け後、カメラレンズの保護シートをはがしてください。
- ・粘着テープの取り付け強度を強くするため、取り付け後 24 時間以上放置してから使用してください。
- ・ガラスに貼り付け直すと粘着テープの接着強度が落ちます。貼り付け直すことがないように貼り付け位置を事前に確認してください。

## ● ケーブルの引き回し例



## 取り付け手順



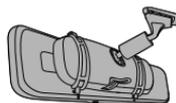
・取り付けの際に電装部品や車両部品を外す必要がある場合、安全のためバッテリーの⊖端子を外してから作業を行ってください。

1. 水平で安全な場所に車両を駐車する
2. 車両のエンジンスイッチを「オフ」にしてバッテリーの⊖端子を外す
3. 推奨取り付け位置を参考にメインユニットとリアカメラの取り付け位置を決める (→P.9、P.10)
4. 付属の接続ケーブルとシガープラグコードを接続し、仮配線する (→P.12)
5. バッテリーの⊖端子を接続する
6. 車両のエンジンスイッチを「ACC」または「オン」にして本機の電源が入ることを確認する
7. リアカメラの映像を確認して、取り付け位置と角度を決める
8. 車両のエンジンスイッチを「オフ」にして本機の電源をオフにする
9. バッテリーの⊖端子を外す
10. メインユニットとリアカメラを取り付ける (→P.11)
11. 付属の接続ケーブルとシガープラグコードを接続し、配線する
12. バッテリーの⊖端子を接続する
13. 車両のエンジンスイッチを「ACC」または「オン」にして、本機の電源が入ることを確認する

14. リアカメラの映像を確認して、角度を調整する (→P.12)

## メインユニットの取り付け

1. メインユニットを純正ルームミラーにあてがい、付属の固定用バンドをメインユニット上下のフックに引っ掛けて取り付ける



## リアカメラの取り付け

1. リアガラスに貼り付ける前に角度調整ネジを緩めて、大まかな角度調整を行う

角度調整が終了した後は、緩めたネジを締め直してください。配線後に実際の映像を見ながら再調整してください。

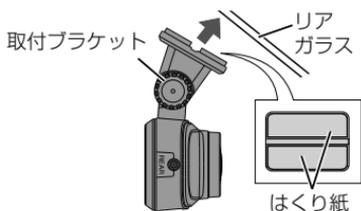


2. リアカメラの推奨取り付け位置 (→P.10) を参考にしてリアカメラの取り付け位置を決める
3. 市販のクリーニングクロスなどで取り付け場所の汚れや脂分をきれいに拭き取る

# 取り付け / 配線のしかた

## 4. 取付ブラケットから両面テープのはくり紙をはがし、リアガラスに押しつけて貼り付ける

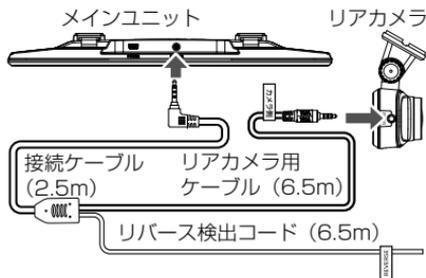
リアカメラ用の取付ブラケットは、取り付け後に上下方向の角度調整はできますが、左右方向の角度調整はできませんので注意してください。



## 5. カメラレンズの保護シートをはがす

### 接続する

## 1. 付属の接続ケーブルをメインユニットに接続、リアカメラ用ケーブルをリアカメラに接続し、配線する



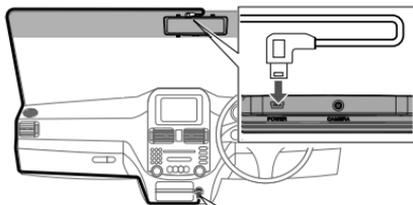
市販の0.3sqケーブル対応型中継コネクタを使用し、車両のリバースランプハーネスに接続します。

## 2. リバース検出コードを市販の中継コネクタを使用し、車両のリバースランプハーネスに接続し、配線する

※シフトレバーを「R」（リバース）に入れたときに安定した電圧（3.3V以上）が出力される線に接続してください。

※ 接続していないと、リバース連動「画角自動下降」機能を使用できません。

## 3. 付属のシガープラグコードをアクセサリソケットとメインユニットに接続して、配線する



エンジンスイッチを「オン」にすると、緑色に点灯します。



注意

シガープラグには12Vから5Vに変換する回路が内蔵されています。シガープラグの改造、加工は故障の原因となりますので、絶対に行わないでください。

### カメラ調整

## 1. 画面を見ながら、リアカメラの取り付け角度（向き）を調整する

※ 地上と空の比率が約1対1になることを推奨します。

※ リバース連動「画角自動下降」機能を使用する場合は、シフトレバーを「R」（リバース）に入れたときの画像で調整します。



\* 写真はイメージです

## 2. LCD画面をタッチする

### 3. リアカメラの画像位置を合わせる

[^] または [v] をタッチして表示したい位置に合わせます。



## 主な仕様

### ■ メインユニット

電源電圧	DC5V (12V 車両用シガープラグコード付属)
消費電流 (最大)	1.6A (2.2A)
液晶サイズ	10V 型 フルカラータッチパネル液晶
動作温度範囲	-10℃~+60℃
外形寸法 (W) × (H) × (D) (突起物除く)	264mm × 78mm × 27mm
質量 (重さ) (ケーブル含まず)	385g
電源ケーブル長	3.5m (シガープラグコード、 ガラス管ヒューズ: $\phi$ 5.2 × L20mm、電流容量 5A を内蔵)

### ■ リアカメラ

撮影素子	1/2.8 型 約 207 万画素フルカラーCMOS
画角	水平: 約 107° / 垂直: 約 56° / 対角: 約 130°
F 値	F1.8
動作温度範囲	-10℃~+60℃
解像度	Full-HD (1920 × 1080)
フレームレート	59.0fps
外形寸法 (W) × (H) × (D) (突起物除く)	57mm × 31mm × 26mm ブラケット (テープ貼り付け) 装着時高さ: 最大 60mm
質量 (重さ) (ブラケット / ケーブル含まず)	42g
接続ケーブル長	接続ケーブル (リアカメラ用ケーブル): 9.0m

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

# 保証とアフターサービス

## 保証について

- 保証書 この製品には、保証書を添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間 お買い上げの日より3年です。

## 修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたは JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

- ホームページ  
<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>
- JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター  
0120-2727-87（固定電話からはフリーダイヤル）  
0570-010-114（携帯電話からはナビダイヤル）  
045-450-8950（一部 IP 電話など）/ FAX 045-450-2308  
受付時間などは、裏表紙を参照してください。

## 修理を依頼されるときは

「ユーザーズガイド」(→ P.2)の「故障かなと思ったら」または当社ホームページのFAQ (→ P.2)を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

### ● 保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

### ● 保証期間経過後は…

お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

### ● 補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ● 持込修理 この製品は持込修理とさせていただきます。

- 製品をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。（本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。
- 保証期間内外に関わらず、修理、点検のために製品を車両から取り外し、または取り付けの作業費用の負担、および作業のご依頼は承っておりません。

### ● 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

- 技術料： 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代： 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

## 保証規定

1. 保証書に呈示の保証期間内に本書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービスにて無料修理をさせていただきます。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。なお、修理に際しては必ず本保証書をご提示ください。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。
5. 次の場合には保証期間内でも有料になります。
  - (1) 本保証書のご提示のない場合。
  - (2) 本保証書に形名 / 製造番号の印字のない場合、または字句を書き替えられた場合。
  - (3) 本保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
  - (4) 使用上の誤り、結露や水濡れあるいは不当な改造、修理、加工による故障および損傷。(取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、責任を負いません。)
  - (5) 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
  - (6) お買い上げ後の取り付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障および損傷。
  - (7) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障および損傷。
  - (8) 一般車載用途以外に使用された場合の故障および損傷。(例えば、業務用の長時間使用、船舶<船舶用製品を除く>、直流電源装置を用いた一般家庭での使用等)
  - (9) 製造番号の改変および、取り外した製品。
  - (10) 消耗部品(例えば、SD メモリーカード、乾電池、充電電池等)の交換。
  - (11) 持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。
  - (12) 予告なく変更や追加される、あるいは規格の異なる記録媒体、アプリケーション、コンテンツ、放送および電源電圧による不具合。(インターネットを使用して提供されるサービスは、予告なく休止したり、サービス自体が終了されたりする場合がありますので、あらかじめご了承ください。)
6. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
7. 本保証書は、再発行しません。大切に保管してください。

※ 修理の内容は修理伝票に記載し、お渡します。

※ 本保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。

※ 保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは本書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

※ 本保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

形名／製造番号		※お買い上げ日	
LZ-X20EM		年 月 日	
		保証期間（お買い上げ日より）	
		本体： 3 年	
※お客様	お名前		様
	ご住所 〒		
		電話番号 ( )	
※販売店	店名・住所		
		電話番号 ( )	

公開用

※印欄は必ずご記入ください。

お客様の正常なご使用状況で万が一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。

- 無料修理の条件について、詳しくは本ページ裏側の「保証規定」をご覧ください。
- 修理は、本保証書を添えてお買い上げの販売店または、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

## 株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

- ・商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)  
 0570-010-114 (携帯電話からはナビダイヤル)  
 045-450-8950 (一部IP電話など) / FAX 045-450-2308  
 住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12  
 受付時間 月曜～金曜：9:30～18:00  
 土曜：9:30～12:00、13:00～17:30  
 (日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- ・修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>) または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。